

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あすなるHOP		
○保護者評価実施期間	令和8年3月16日	～	令和8年3月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	令和8年4月1日	～	令和8年4月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月10日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の発達段階や特性に応じた支援を行い、保護者から高い評価を得ている。	アセスメント結果や保護者のニーズを踏まえ、個別支援計画を作成し、専門職と連携しながら支援を実施している。	職員研修の充実や支援事例の共有を継続し、支援の質の向上を図る。
2	安心して過ごせる環境整備や構造化された支援環境を提供できている。	視覚支援や活動スペースの整理を行い、子どもが見通しを持って活動できる環境づくりを行っている。	子どもの発達や特性に応じた環境設定を継続的に見直している。
3	保護者との連携や情報共有体制が整っている。	HUGや送迎時の申し送り、面談等を通して日々の様子や支援内容を共有している。	保護者支援や相談体制をさらに充実させ、安心して相談できる環境づくりを進める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流や他児との交流機会について保護者へ十分に伝わっていない。	交流機会はあるものの、活動内容や目的の周知が十分ではない。	通信やSNS等を活用し、交流活動の様子や目的を積極的に発信する。
2	防災・安全管理に関する取組の周知が十分ではない。	避難訓練等を実施しているが、保護者への発信機会が限られている。	避難訓練や安全管理体制について定期的に周知を行う。
3	保護者同士が交流する機会が少ない。	交流の場を設ける機会が限られている。	講演会や交流会等の実施を検討する。